

審美性と機能を兼ね備えた咬合・補綴治療が学べる一冊

新刊紹介



第一章 咬合の診断

第二章 インプラント時代の欠損補綴

第三章 全顎治療介入の流れ

第四章 上顎歯列の重要性 咬合平面と正中矢状面

第五章 下顎位 垂直的顎位と水平的顎位

第六章 咬合論と咬合様式

第七章 力の臨床症状

第八章 インプラントの咬合

Column 一部抜粋

- ・なぜ全顎治療が必要なのか？
- ・歯周炎と挺出について
- ・ゴシックアーチ描記法の注意点
- ・リンガライズド・オクルージョン
- ・咬合の安定のための必要条件
- ・歯の動揺と歯周病の進行
- ・側方運動時の平衡側の咬合干涉
- ・睡眠時ブラキシズムの臨床症状
- ・揺れる中心位
- ・M型ガイドとD型ガイド
- ・犬歯によるプロテクト
- ・骨を構成する細胞 etc.

